

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.35

第 54 回大会を終えて

第 54 回大会準備委員会委員長 吉田 和浩

2018 年 6 月 22 日～24 日に行われました日本比較教育学会第 54 回大会にあたりましては、多くの会員の皆様にご参加いただきまして心よりお礼申し上げます。本大会では 341 名のご参加をいただき、9 つのラウンドテーブル、148 件の自由研究発表、公開シンポジウム「比較教育学から SDG 4 を考える」、課題研究Ⅰ「アジアにおける高大接続の比較研究」、課題研究Ⅱ「公教育制度の第 3 ステージへの模索」を開催させていただくことができました。自由研究発表における英語での発表の数も多く、34 部会中 6 部会が英語でのセッションとなりました。海外からの参加者も多くお迎えでき、特に次期北米比較国際教育学会（CIES）2019 会長である David Post 先生におきましては会員としてのご発表に加えて来期大会のご案内も賜り、絆を深めることができました。

公開シンポジウムでは、木村裕、田村梨花、野田真里の各会員からオーストラリア、ブラジル、カンボジアでの教育と SDG の関係、地元広島からは山下雅文先生（広島大学附属福山高等学校）より SDG に向けた広島大学との連携プログラム実践をご発表いただき、永田佳之会員よりコメントを頂きました。状況が異なる国々における教育と SDG との関係について思いをめぐらせながら、大きな刺激を受けて頂いたことと願っております。課題研究Ⅰでは、牧貴愛会員の司会により、小川佳万、松本麻人、小野寺香、大和洋子の各会員より、中国、韓国、台湾、香港における高大接続の状況についての報告と議論がされました。学会の研究委員会主催である課題研究Ⅱでは、森下稔、中島千恵会員の司会により、中島千恵、吉原美那子、澤野由紀子、杉本均、服部美奈、石川裕之の各会員より各国の公教育制度の新しい変化についての報告と議論がなされました。比較教育学会の大会は、常に世界の新しい動向について、会員との情報共有と活発な議論が行われる素晴らしい場であるのだと改めて感じたところです。

さて、情報交換会はいかがでしたでしょうか。酒都西条らしいおもてなしをしたいと考え、鏡割りによって開会とし、西条太鼓を披露させていただきました。207 人の方にご参加いただき、非常に盛会となりました。ありがとうございました。

今回の会場は、広島大学ではなく、交通が便利で新しい東広島市の文化ホール“くらら”にさせていただきました。様々なメリットはあったものの、分科会会場では椅子が足りず、立ち見となることも多々あり、皆様には大変ご不便をおかけいたしまして、申し訳ありませんでした。

ほかにも様々な不手際があったことと思いますが、みなさまのご理解とお力添えに支えられて第 54 回大会を無事終えることができました。大会準備委員会一同、心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

■第 54 回大会を終えて

【大会の様子】



<公開シンポジウム>

<課題研究 I >

<分科会会場部>



<情報交換会：鏡割り>



日本比較教育学会第 55 回大会準備委員会 連絡先

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学

日本比較教育学会第 55 回大会準備委員会 岡田昭人

E-mail : jces55tufs@gmail.com

■お知らせ

●平塚賞運営委員会

委員長 服部 美奈

平塚賞運営委員会は今年度も下記の要領で第 29 回平塚賞の候補作品を募集します。応募は自薦・他薦を問いません。ふるってご応募ください。多くの優れた作品の応募があることを願っています。応募要領の詳細は日本比較教育学会ホームページまたは学会紀要巻末掲載の「日本比較教育学会平塚賞規定」をご参照ください。

記

1. 対象作品：2018 年 1 月～12 月に公開された比較教育学に関する著書・論文(分担執筆を含む。ただし連名のものを除く)。
2. 応募要領：本学会ホームページ掲載の「平塚賞候補著書・論文推薦書」(MS-Word、PDF)に必要事項を記入し、当該著書・論文 1 部とともに提出すること。
3. 締め切り：2019 年 1 月 15 日 (必着)
4. 送付先：
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1
第 2 ユニオンビル 4F (株) ガリレオ気付
日本比較教育学会・平塚賞運営委員会
委員長 服部 美奈 宛
5. 問い合わせ先：
g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp

●研究委員会

委員長 森下 稔

研究委員会で申請した学会科研が 2 件採択されました。一つは、基盤研究(A)(一般)「境界研究の分析法を用いた国境・境界地域における基礎教育に関する国際比較研究」(代表：森下稔、2018-2021 年度)です。詳しくは本学会紀要第 57 号特集論文をご参照ください。もう一つは、基盤研究(C)(一般)「アセアン諸国の OOSCY に対する国際教育支援ネットワークに関する研究」(代表：乾美紀、2018-2020 年度)です。2016 年に ASEAN (東南アジア諸国連合) は Out of School Children and Youth (OOSCY) への教育の強化を促進させる宣言を採択しました。OOSCY をめぐる諸課題と国際的ネットワークによる支援の解明に取り組みます。第 55 回大会 (2019 年度) から第 57 回大会 (2021 年度) までの課題研究Ⅱのテーマは上記 2 つの学会科研とします。

本年 6 月の第 54 回大会では、若手研究者支援事業としてラウンドテーブル「比較教育学を学ぶ人のためのアカデミック・キャリアシリー

ズⅠ—教員養成・研修に携わる—」(鴨川明子委員企画)を実施しました。この成果を会員のみなさまと共有するための方法を検討しています。第 55 回大会のラウンドテーブルでは、引き続きシリーズの 2 回目を企画実施します。

●紀要編集委員会

委員長 日下部 達哉

紀要編集委員会では現在、第 57 号の発刊を終え、第 58 号の編集を行っています。58 号では、今年の 6 月 22～23 日に広島で行われた第 54 回大会の学会報告を行うこととしています。

第 58 号には、14 本の投稿論文があり、形式審査によって 10 本が査読に付されました。最近の投稿では、注の書式が本文と同じになっていないため、形式審査を通らないケースが見受けられます。投稿者においては、提出する紙媒体の書式について十分なチェックをしたうえでご投稿くださいますようお願いいたします。

投稿締め切りは毎年 1 月 20 日と 7 月 20 日 (当日消印有効) となっています。本誌では各国の地域教育研究が投稿の中心ですが、日本を事例とする研究など新しいスタイルの研究も採択されています。皆様奮ってご投稿ください。なお、第 59 号より委員長が交代するのに伴い、以下の連絡先に投稿していただくこととなります。

最後に、既に皆様のお手元に届いたかと思いますが、紀要は第 57 号から表紙を一新し、掲載された論文の目次を見ることができるようになりました。会員各位におかれましては引き続き紀要編集へのご協力を賜りたいと存じます。何卒よろしくお願いいたします。



<一新された表紙デザイン>

【原稿提出・連絡先】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2
大阪大学大学院人間科学研究科
澤村信英研究室気付
日本比較教育学会紀要編集委員会事務局 宛
Tel: 06-6879-8101 (澤村研究室)
Fax: 06-6879-8064 (国際協力学研究分野)
Email: jces.handai@gmail.com

■第54回大会を終えて

第54回大会 総会

2018年6月23日(土)に東広島芸術文化ホールくららにおいて、第54回大会総会が開催されました。総会の議事次第と承認された2017年度決算報告および2018年度予算案は以下の通りです。

議事次第

日時：

2018年6月23日(土) 17:15～18:00

場所：

東広島市文化ホール“くらら”

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の辞 2. 会長挨拶 3. 大会開催校代表挨拶 4. 議長団選出 | <ol style="list-style-type: none"> 5. 2017年度事業報告(事務局、各種委員会) 6. 2017年度決算報告および監査報告 7. 『リーディングス 比較教育学』について 8. ガリレオとの過年度分委託事業費の交渉経緯と協議について 9. 2018年度事業計画(事務局、各種委員会) 10. 2018年度予算案 11. 第55回大会開催校について 12. 閉会の辞 |
|--|--|

●年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161

日本比較教育学会事務局

- * ご所属先を通じて納入される方は、入金の際に必ず事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。
- * 所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。

【注意】

「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費(10,000円)をお支払いください。

●学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

- 岩崎久美子編著『国際バカロレアの挑戦—グローバル時代の世界標準プログラム—』明石書店、2018年。
- 江原武一『教育と比較の眼』東信堂、2018年。
- 河合塾編『グローバル社会における日本の大学教育—全国大学調査からみえてきた現状と課題—』東信堂、2018年。
- 関西教育行政学会『Japanese Educational System and its Administration 日本の教育制度と教育行政』東信堂、2018年。
- 菊地かおり『イングランドのシティズンシップ教育政策の展開—カリキュラム改革にみる国民意識の形成に着目して—』東信堂、2018年。
- 北野秋男・下司晶・小笠原喜康『現代学カテスト批判—実態調査・思想・認識論からのアプローチ—』東信堂、2018年。
- 北垣郁雄編著『学生エリート養成プログラム—日本、アメリカ、中国—』東信堂、2017年。
- 絹川正吉『リベラル・アーツの源泉を訪ねて』東信堂、2018年。

■お知らせ

- 工藤瞳『ペルーの民衆教育—「社会を変える」教育の変容と学校での受容—』東信堂、2018年。
- 久保田賢一・今野貴之『主体的・対話的で深い学びの環境とICT』東信堂、2018年。
- 小林和美『早期留学の社会学—国境を越える韓国の子どもたち—』昭和堂、2017年。
- 清水貴夫・亀井伸考編『子どもたちの生きるアフリカ—伝統と開発がせめぎあう大地で—』昭和堂、2017年。
- 関根明伸『韓国道徳科教育の研究—教科原理とカリキュラム—』東北大学出版会、2018年。
- 曾我幸代『社会変容をめざすESD—ケアを通じた自己変容をもとに—』学文社、2018年。
- 高野篤子『イギリス大学経営人材の養成』東信堂、2018年。
- 高橋輝暁編『人間形成としての教養—ハンガリー、フィンランド、日本におけるドイツ的理念の受容と将来展望—』春風社、2018年。
- 田中弘允・佐藤博明・田原博人『検証 国立大学法人化と大学の責任』東信堂、2018年。
- 谷川至孝『英国労働党の教育政策「第三の道」』世織書房、2018年。
- Tokunaga, Tomoko. (2018). *Learning to Belong in the World: An Ethnography of Asian American Girls*, Singapore: Springer.
- 中西啓喜『学力格差拡大の社会学的研究—小中学生への追跡的学力調査結果が示すもの—』東信堂、2017年。
- 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営1 現代教育改革と教育経営』学文社、2018年。
- 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営2 現代の教育課題と教育経営』学文社、2018年。
- 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営3 教育経営学の研究動向』学文社、2018年。
- 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営4 教育経営における研究と実践』学文社、2018年。
- 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営5 教育経営ハンドブック』学文社、2018年。
- 原田信之編著『カリキュラム・マネジメントと授業の質保証—各国の事例の比較から—』北大路書房、2018年。
- 福井文威『米国高等教育の拡大する個人寄付』東信堂、2018年。
- 溝上慎一『大学生白書2018—いまの大学教育では学生を変えられない—』東信堂、2018年。

- 宮本健市郎『空間と時間の教育史—アメリカの学校建築と授業時間割からみる—』(関西学院大学研究叢書第196編) 東信堂、2018年。
- 李霞編著『グローバル人材育成と国際バカロレア—アジア諸国のIB導入実態—』東信堂、2018年。
- Yamada, Shoko. (2018). *Dignity of Labour for African Leaders: The Formation of Education Policy in the British Colonial Office and Achimota School, Cameroon*: Langaa RPCIG.

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学グローバル教育センター207

日本比較教育学会事務局 (丸山研究室)

E-mail: jcesjimu@outlook.jp

TEL: 050-5800-4873

(不在のことが多いため、できるだけメールでご連絡ください。)

会員情報、入退会、会費、システム、HPIに関する連絡

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1

第2ユニオンビル4F

(株)ガリレオ東京オフィス学会業務情報化センター内

日本比較教育学会事務局

Tel : 03-5981-9824

Fax : 03-5981-9852

E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jpURL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>

■お知らせ

今回のニュースレターから、これまでの紙媒体で郵送する形式から、メールの添付ファイルの形式でお送りさせていただくこととしました。これに伴いまして、従来はニュースレターと共に送付させていただいておりました前年度決算報告と新年度予算につきましては、別メールにてパスワードをかけてお送りさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本比較教育学会事務局